

ULVAC REPORT

第121期 中間報告書

2024年7月1日 ▶ 2024年12月31日

ULVAC

証券コード：6728

環境変化に柔軟に対応し、

株主の皆様におかれましては、平素より当社グループ事業へのご理解と多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

近年、私たちを取り巻く環境は、AIやデジタル技術の進化を受けて変化のスピードを増し、これまで以上に情報の活用と知識の共有が行われる時代を迎えています。革新的なツールの登場により、多くの業務や活動が省力化・効率化され、質の高い成果が短時間かつ低コストで得られるようになりました。こうした時代において当社グループは、常に新しい価値を創出し、技術革新に寄与することでさらなる成長を遂げてまいります。

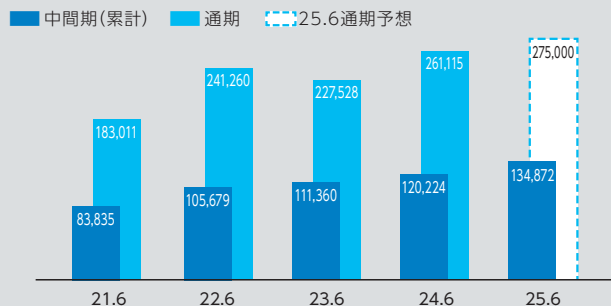
以上を念頭に、当社グループは「Vision 2032」において「未来につながる可能性の場であり続ける」を掲げ、達成に向けたプロセスとして、3か年中期経営計画（2024年6月期～2026年6月期）を推進中です。本計画は、「真空技術による社会的価値創造」と「利益・資本効率重視の経営」を基本方針とし、グループを挙げて価値共創の拡大にチャレンジしていくものです。

本計画の折り返しを迎えた当中間期は、前期からの増収・増益基調を継続し、概ね期初計画に沿った成果を上げることができました。受注においては、短期的にEV需要の鈍化によ

代表取締役社長
岩下 節生

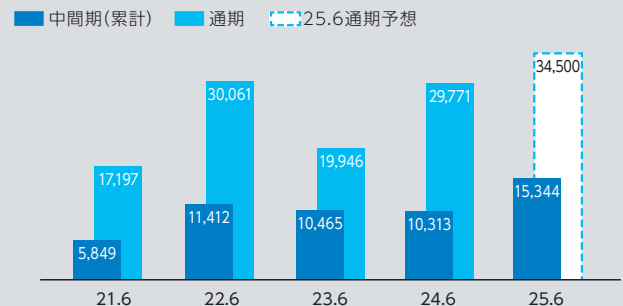
連結業績ハイライト

売上高 (単位: 百万円)



※記載金額は単位未満を四捨五入して表示しております。

営業利益 (単位: 百万円)



持続的成長へ着実に前進します。

るパワーデバイス関連の投資減速が見られ、次世代EVバッテリーの車載への採用タイミングに遅延が生じましたが、ディスプレイ分野ではOLEDの大型案件を獲得しました。

結果として当中間期の連結業績は、受注高1,163億78百万円(前年同期比13.2%減)、売上高1,348億72百万円(同12.2%増)、営業利益153億44百万円(同48.8%増)、経常利益160億54百万円(同46.0%増)、親会社株主に帰属する中間純利益104億13百万円(同51.8%増)となりました。売上高は、高水準の受注残高が寄与したことなどから、半導体・電子部品製造装置、ディスプレイ・エネルギー関連製造装置、コンポーネントの各品目で増収を遂げました。その中で利益率の高い半導体・電子部品製造装置、コンポーネントの売上高構成比が50%超を維持し、マージン改善による増益をもたらしました。

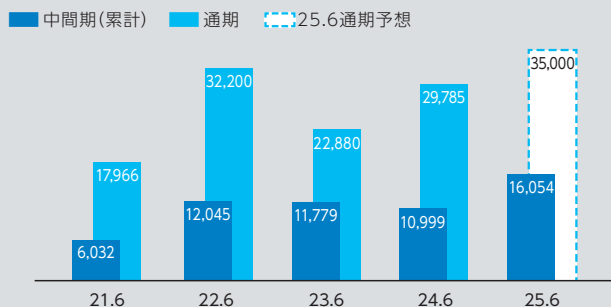
今後は、下期から半導体投資の回復や先端パッケージングビジネスが活発化する見通しです。当社グループはこうした事業環境のもと、通期の連結業績については期首に想定していた以上にEV需要が鈍化していることなど、投資が減速している現状を反映し、受注高の見通しを、期首の2,700億円より

100億円下げ、2,600億円(前期比0.7%増)へと見直しました。売上高2,750億円(同5.3%増)、営業利益345億円(同15.9%増)、経常利益350億円(同17.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益230億円(同13.7%増)は、上期末の受注残高1,255億円の寄与等が十分に見込めることもあり、通期の見通しを据え置いております。

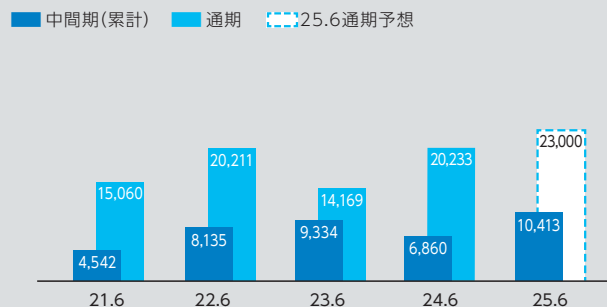
引き続き、中期経営計画の達成に向けて、製品企画力を高めながら戦略購買体制を築き、計画的に生産を拡充する「モノづくり力強化」の取り組みを通じて、生産性の向上と利益率の改善を図ってまいります。

ULVACは、真空技術をコアに社会やお客様の期待に応える価値を提供し続ける企業です。長年培った高度な技術力とノウハウを基盤に、お客様との対話を通じて課題を特定し、最適なソリューションを生み出していきます。これからもお客様や研究機関等との共創を通じて、未来を見据えた挑戦を続けてまいります。株主の皆様におかれましては、当社グループの長期的な成長にご期待いただき、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

経常利益 (単位:百万円)



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益 (単位:百万円)



※「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用に伴い、2021年6月期につきましては、遡及後の数値を記載しております。

アルバックは「未来につながる可能性の場」として、 真空技術の総合利用により新たな価値の創造に取り

半導体向け成膜装置の新モデル「ENTRON-EXX」受注受付開始

優れたデータ収集・解析能力と拡張性でお客様の生産性と開発スピード向上を支援

2024年12月、半導体向けマルチチャンバ型成膜装置の新モデル「ENTRON-EXX」の受注受付を開始しました。本製品は、2005年にリリースされて以来、世界中のお客様に採用されてきた従来モデル「ENTRON-EX W300」を19年ぶりに刷新したものです。生産性と柔軟性を継承することで、お客様のスペースあたりの生産性を最大化することを可能とし、複雑化する半導体製造に対応するため、データ収集・解析能力を大幅に向上しました。リアルタイムで大量のデータを収集・解析することで、歩留まりの改善、予防保全や作業効率向上に貢献します。さらに、迅速なモジュール追加や置換が可能な拡張性の高い設計を採用することで、次世代の半導体製造をサポートします。



韓国における次世代半導体製造装置の開発拠点「Technology Center PYEONGTAEK」が開所

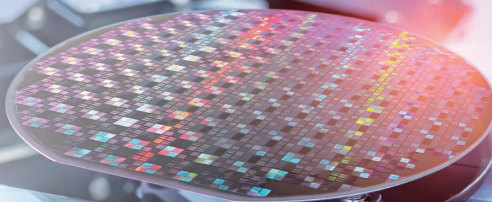
当社は、2024年8月に大韓民国 京畿道 平澤市にTechnology Center PYEONGTAEK(以下、当センター)を設立、10月に開所式を実施しました。

当センターは、次世代半導体製造装置の開発及びプロセス開発を韓国内のお客様と共に推進し、量産技術の確立を目指しています。半導体製造装置においては、技術の難易度が急速に高まっており、競争力の高い製品を市場に提供するためには、先端半導体メーカー等とこれまで以上に緊密に共同開発を推進することが必須となっています。当センターは、アルバックグループが持つ豊富な人材やノウハウ等を最大限活用することで、お客様のニーズに応えた高品質な製造装置を迅速に提供するとともに、技術サポートを強化していきます。



10月の開所式には、パートナー企業、京畿道、当社関係者等が出席しました。登壇した当社代表取締役社長の岩下は、無事に開所式を迎えることができたことに関係者の尽力への感謝とともに、「お客様のニーズに迅速かつ的確に応え、共に成長していくことを目指します。」と挨拶しました。

組んでまいります。

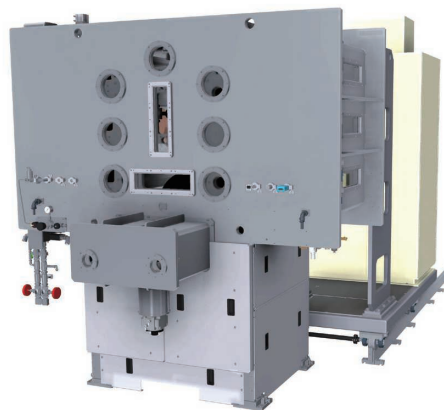


Roll to Rollのリチウム蒸着装置を開発 ～高品質なリチウム極薄膜を実現～

当社は、リチウム金属を金属箔上に成膜できる巻取式 (Roll to Roll) 真空蒸着装置「EWK-030」を開発し、2025年5月に販売開始予定です。

近年、EV (電動車) の普及拡大に向けて次世代バッテリーの開発が世界中で活発に行われています。アルバックは、2022年に国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) の「グリーンイノベーション基金事業/次世代蓄電池・次世代モーターの開発」プロジェクトに、「リチウム金属負極生産技術」の開発で採択されました。本製品は、そのプロジェクトの成果の一つであり、全世界の次世代バッテリー開発・生産をはじめとした幅広い分野での活用が期待されます。

本製品は、アルバックが長年培ってきた包装用やキャパシター用のフィルム上への金属の薄膜蒸着技術を応用し、真空環境下で金属箔上にリチウムを成膜します。蒸着によって形成された薄膜リチウムは、真空下で処理されるため不純物の混入や酸化を抑えることができ、従来の大気環境下でのロールプレス (圧延) 技術によって形成されたリチウム箔よりも良好な膜表面を得ることができます。また、本製品はリチウムの材料使用効率を最大限に高める設計がされており、一般的な蒸着装置に比べコスト・環境面で優位性があります。



NEDOグリーンイノベーション基金事業「次世代蓄電池・次世代モーターの開発」プロジェクトに採択

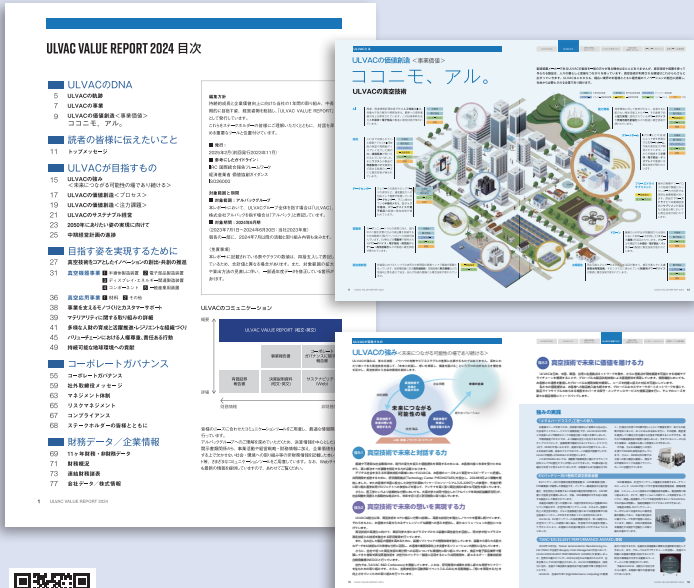
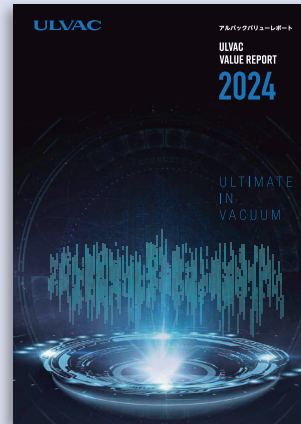


グリーンイノベーション基金事業は、2050年カーボンニュートラルの実現のため、経済産業省がNEDOに総額2兆円の基金を造成し、野心的かつ具体的な目標を共有した上で、これに経営課題として取り組む企業などを研究開発・実証から社会実装まで10年間継続して支援するものです。

当社は、リチウム金属負極が搭載される高エネルギー密度蓄電池の社会実装に向け、当社の強みとなる真空技術を応用したリチウム金属負極の生産技術を開発します。部材メーカー、フィルム加工メーカーなどと協業し、量産向けRoll to Roll式真空リチウム蒸着装置の成膜技術によって、薄膜で高純度のリチウム負極を低価格で生産可能な装置を提供し、蓄電池の小型化・大容量化、GHG排出量低減に寄与します。

統合レポート「ULVAC VALUE REPORT 2024」を発行

持続的成長と企業価値向上に向けた当社の1年間の取り組み、中長期的に目指す姿、経営姿勢を総括し、「ULVAC VALUE REPORT」として発行しています。2024年版を当社ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



Vision 2032策定
～未来につながる可能性の場であり続ける～

マテリアリティ公表

- 真空技術をコアとしたイノベーションの創出・共創の推進
- 多様な人材の育成と活躍推進・レジリエントな組織づくり
- バリューチェーンにおける人権尊重・責任ある行動
- 持続可能な地球環境への貢献



▶ Vision 2032 詳細動画

「可能性の場」



<https://www.ulvac.co.jp/sustainability/report/index.html>

TOPICS

次世代半導体パッケージのコンソーシアム「US-JOINT」に参画

当社は、(株) レゾナックが米国・シリコンバレーに設立した、次世代半導体パッケージのコンソーシアム「US-JOINT」に参画します。当社のコア技術である真空技術を応用したプラズマアッシング装置とシードスパッタリング装置を導入、プロセス技術の専門知識を活かし、本コンソーシアムを通じて次世代半導体パッケージ技術の進化に寄与していきます。



会社データ / 株式の状況

会社概要

2024年12月31日現在

商号	株式会社アルバック ULVAC, Inc.
商標	ULVAC
本社	神奈川県茅ヶ崎市萩園2500番地
設立	1952年8月23日
資本金	20,873,042,500円
従業員数	1,669名(連結6,188名)

役員

2024年12月31日現在

代表取締役社長	岩下 節生
常務取締役	青木 貞男
取締役(社外)	西 啓介
取締役(社外)	内田 憲男
取締役(社外)	石田 耕三
取締役(社外)	中島 好美
監査役(常勤)	森尻 裕二
監査役(常勤)	齋藤 一也
監査役(社外)	宇都宮 功
監査役(社外)	本田 宗哉
常務執行役員	島田 鉄也
常務執行役員	清水 康男
常務執行役員	申 周勲
常務執行役員	清田 淳也

上席執行役員	佐藤 重光
上席執行役員	近藤 智保
上席執行役員	萩之内 剛
上席執行役員	衣川 正剛
上席執行役員	高橋 信次
執行役員	金 善吉
執行役員	原 泰博
執行役員	岩井 治憲
執行役員	岩澤 宏明
執行役員	磯 佳樹
執行役員	楊 秉君
執行役員	呉 東嶸
執行役員	高橋 明久

株式の状況

2024年12月31日現在

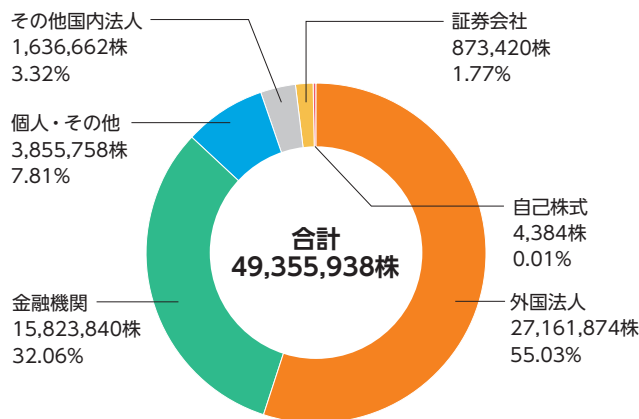
発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式の総数	49,355,938株
株主数	12,082名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,369	12.90
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	3,576	7.24
日本生命保険相互会社	3,242	6.57
BBH(LUX)FOR FIDELITY FUNDS-GLOBAL TECHNOLOGY POOL	2,980	6.04
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	2,504	5.07
TAIYO FUND, L. P.	2,071	4.20
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505038	1,361	2.76
TAIYO HANEI FUND, L. P.	1,292	2.62
GOVERNMENT OF NORWAY	1,201	2.43
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505227	1,080	2.19

(注)持株比率は自己株式(4,384株)を控除して計算しております。

所有者別株式数



株主メモ

事業年度	7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	9月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 6月30日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	TEL.0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間 9:00～17:00(土・日・休日を除く)

住所変更など諸手続のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社等にお申し出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
三井住友信託銀行株式会社への
手続用紙(住所変更・買取請求・配当金振込指定など)のご請求
ホームページアドレス
<https://www.smb.jp/personal/procedure/agency/>

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

配当金のお受け取り方法について

配当金を配当金領収証でお受け取りの株主様には、確実に配当金をお受け取りいただける預金口座や証券会社の口座への振込みによる配当金のお受け取りをお勧めします。詳しくはお取引証券会社等にお問合せください。

IRカレンダー

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	中間期 決算発表			第3四半期 決算発表			通期 決算発表		定時株主総会		第1四半期 決算発表



ウェブサイトのご案内

📍 企業情報はこちら <https://www.ulvac.co.jp/>



📍 IR情報はこちら <https://ir.ulvac.co.jp/ja/ir.html>



本事業報告書に記載されている当社の現在の計画・戦略及び予測については、現在入手可能な情報に基づき、当社が現時点で合理的であると判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は様々な要因により本事業報告書の内容とは異なる可能性のあることをご承知おきください。

ULVAC 株式会社アルバック

本社・工場
〒253-8543 神奈川県茅ヶ崎市萩園2500番地
TEL.0467-89-2033

